

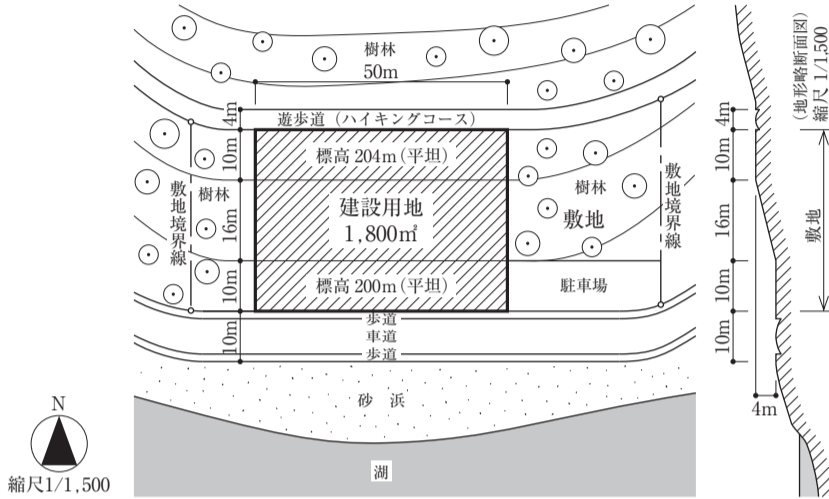
# 設計課題 小規模なリゾートホテル

## I. 設計条件

この課題は、高原の景勝地にリゾートホテルを計画するものである。周辺には、つり等が楽しめる湖やハイキングを楽しむ遊歩道があり、周囲は良好な景観に恵まれている。本施設は、豊かな自然を満喫することで心身をリフレッシュすることができる場とするとともに、地域住民と交流の場となるように共用部門を計画するものとする。また、計画に当たっては、高齢者や車いす使用者が円滑に利用できる設計手法(ユニバーサルデザイン)及び快適な室内環境が得られるような設計手法(パッシブデザイン)を積極的に取り入れるものとする。

### 1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。この敷地のうち本施設の建設可能な建設用地は斜線で示した部分である。
- 敷地は、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあり、建ぺい率及び容積率の制限はないが、景観保全のため主要な屋根は、北側及び南側に下る勾配屋根とする。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。また、敷地の造成は最小限に留めるものとする。
- 地下水及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



### 2. 建築物

- 構造、階数等  
構造種別は自由とし、地下1階、地上2階建ての1棟の建築物とする。この課題においての階の取り扱いは、敷地の標高200mの部分に直近の階を地下1階とする。
- 床面積の合計  
床面積の合計は、2,400㎡以上、2,700㎡以下とする。この課題の床面積の算定においては、ピロティ、バルコニー、屋外階段及び塔屋は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室  
下表の室は、全て計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
客室部門	客室 (ツインルーム)	・16室(約30㎡/1室)設ける。 ・間口の幅は5m以上とし、バルコニーを設ける。 ・ベッド、テーブル、椅子等を設ける。	計約480㎡
	リネン庫		適宜
	ランドリー		適宜
共用部門	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・まとまったスペースの吹抜(約80㎡)を設け、その吹抜け部分は梁を設けない構造計画とする。 ・自然景観を取り入れ、明るく開放的な空間とする。 ・郷土の歴史、伝統、特産品等の紹介を行う展示スペースを設ける。	適宜
	売店	・特産品等の売場及び商品倉庫(約15㎡)を設ける。 ・売場には、レジカウンター、陳列棚を設ける。	約80㎡
	カフェラウンジ	・エントランスホールに隣接させ、施設利用者の交流の場となるようにする。 ・バーカウンター、テーブル及び椅子を設ける。	約80㎡
	レストラン	・50人程度が利用できるようにする。 ・明るく開放的な空間とし、屋外テラスと一体的に利用できるようにする。 ・テーブル、椅子等を設ける。 ・厨房、食品庫を設ける。	適宜
	多目的室	・2室に分割して、利用できるようにする。 ・催事、宴会、研修、会議等に利用する。 ・宴会時の食事は、レストラン厨房で調理する。	約100㎡
	パントリー	・多目的室への料理の配膳を行う。	適宜
	交流ラウンジ	・施設利用者の交流の場となるように、吹抜を設け、明るく開放的な空間とする。	約50㎡
温浴部門	受付・ロビー	・受付カウンター、リネン庫を設ける。 ・下足箱を設ける。 ・自販機、テーブル、椅子を設ける。	適宜
	浴室	・男性用、女性用とし、それぞれの脱衣室に洗面コーナーを設ける。 ・眺望に配慮する。	計約120㎡
	リフレッシュルーム	・エステティック、マッサージを行う。	約40㎡
	休憩室	・和室15畳以上とし、押入れを設ける。	適宜
管理部門	リネン庫		適宜
	事務室	・フロントカウンター、クロックを設ける。 ・5人程度が利用できる事務スペースを設ける。 ・仮眠スペースを設ける。	適宜
	厨房事務室	・レストラン職員の休憩にも利用する。	約30㎡
	従業員休憩室	・男性用、女性用として、それぞれ1室設ける。	計約60㎡
	設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。	適宜
・便所、エレベーター、通用口、倉庫については、適切に計画する。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

### 3. その他の施設等

- 屋外テラスは、次のとおり計画する。
  - 地下1階の屋上に設けるものとし、まとまったスペースで50㎡(ピロティ、上部に屋根等がある部分を含めてもよい。)以上設ける。
  - レストランと一体的に利用できるようにする。
  - 流し台、テーブル、椅子等を設ける。
- 車回し及び車寄せを設け、建設用地東側の駐車場との連絡に配慮する。
- 駐車場は、地上に平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、サービス用として1台分を設ける。なお、施設利用者用及び職員用の駐車場は、建設用地東側にある駐車場を利用するものとする。
- ゴミ置場を設ける。
- (1)～(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

### 4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
  - 各部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
  - 建築物内の空間構成においては、吹抜空間を積極的に取り入れ、快適な屋内環境に配慮した計画とする。
  - 敷地の周辺環境に配慮した計画とする。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
  - 斜面地を考慮した基礎構造、構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
  - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
  - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設けるとともに、環境負荷低減に配慮する。
  - 自然採光及び自然換気を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射の遮蔽にも配慮する。

## II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

### 1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。なお、各図面には、必要に応じ、計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 南側配置図 兼 地下1階平面図 1/200	<ol style="list-style-type: none"> <li>地下1階平面図は、南側の配置図を兼ねるものとする。</li> <li>1階平面図は、敷地の北側(上記①以外の部分)の配置図を兼ねるものとする。</li> <li>各平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(スパン割り及び床面積等の計算に必要な程度) ロ. 主要な地盤及び床のレベル(標高200mの地盤をGL±0とする。) ハ. 室名等(客室の表示は、下記⑥ハ.による。) ニ. 要求室の床面積(専用面積を記入する。) ホ. 設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ヘ. 設備計画に応じた設備スペース ト. 断面図の切断位置 チ. 要求室の特記事項に記載されている室、スペース、什器等 リ. 直下階の屋根、ひさし等となる部分</li> <li>北側配置図兼1階平面図及び南側配置図兼地下1階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 屋外テラスの面積、テーブル、いす等 ハ. 車回し、車寄せ、駐車場(台数及び出入口を明示する。) ニ. 通路、植栽等</li> <li>2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離及び重複区間の距離</li> <li>客室については、次のものを図示する。 イ. 客室について、代表的な1室の室内プラン ロ. 各客室の出入口 ハ. 客室の室名(客室1から16)</li> </ol>
(2) 北側配置図 兼 1階平面図 1/200	
(3) 2階平面図 1/200	
(4) 断面図 1/200	<ol style="list-style-type: none"> <li>切断位置は、南北方向とし、エントランスホールの吹抜けを含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。</li> <li>採用した環境負荷低減手法について、必要に応じ、簡潔な文章や矢印等により明示する。</li> <li>屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。</li> <li>南側道路(標高200m)からの塔屋を除く建築物の高さ(平均G.Lは求めなくてよい。)、階高、天井高、地上1階及び地下1階の床高及び主要な室名を記入する。</li> <li>基礎、梁及びスラブの断面を図示する。</li> </ol>

### 2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

各階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

### 3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 交流ラウンジの計画について、交流の場とするために考慮したこと
  - 客室の計画において、高齢者、障害者等の利用について考慮したこと
  - 吹抜けを活かした空間構成について考慮したこと
- 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 建築物に採用した「構造種別・架構形式」及び「スパン割り」について考慮したこと並びに、主要な「部材の断面寸法」
  - 勾配屋根の構造計画について考慮したこと
- 設備計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 客室に採用した空調方式と採用した理由
  - 建築物に採用した給水設備の給水方式及び給湯設備の熱源方式について採用した理由